

News Clip & AV Material

ニュースクリップ&映像教材



■第41回「日本賞」グランプリ日本賞を決定

NHKでは、教育コンテンツ国際コンクールとして、最も教育的効果が高く、教育メディアの発展に寄与するコンテンツに授与されるグランプリ日本賞を平成26年10月21日(火)に決定し、授賞式を行った(写真)。今回は62の国と地域から、320件の作品と企画が寄せられた。グランプリ日本賞の栄に輝いたのは「“自然と遊ぼう!” 大作戦」(イギリス)。詳細については、http://www.nhk.or.jp/jp-prize/2014/prize_winner.htmlを参照のこと。

協会情報

■ 秋の叙勲で岡部守男氏が受章

平成26年度秋の叙勲において、(一財)日本視聴覚教育協会常務理事岡部守男氏が永年に亘る視聴覚教育普及振興の功により、旭日双光章を受章した。岡部守男(おかべ もりお)氏 略歴
昭和37年(財)日本映画教育協会へ入局。(財)日本視聴覚教育協会事務局次長・編集長を経て、平成6年同協会理事・事務局長、平成9年常務理事に就任、現在に至る。映像教材の利用普及や優れた映像教材の製作協力を尽力した。

AV情報

■ パナソニック教育財団「第41回実践研究助成」募集開始

(公財)パナソニック教育財団は、知識基盤社会を生き抜く子どもたちの育成を応援するため、標記助成を行うこととし、その助成先を募集する。

〈内容〉 ○一般(1年間助成)さまざまなICTを効果的に活用した教育内容および教育方法の改善、充実に取り組む実践研究。

○特別研究指定校(2年間助成)には、学校が抱える普遍的なテーマについて、モデル的に取り組む学校を募集。

〈助成内容〉 ○一般50万円×70~80件程度。○特別研究指定校150万円×6件程度。詳細は、下記を参照のこと。http://www.pef.or.jp/01_jissen/08_oubo_shinsei/08_oubo_shinsei_detail.html

〈募集期間〉平成26年12月1日(日)~平成27年1月20日(火)17:00まで。

〈問い合わせ先〉(公財)パナソニック教育財団
TEL 03-5521-6100

■ Museum2015Tokyo

「自己変革する博物館—変化し続ける組織づくり」をテーマに、Museum2015実行委員会(東京国立博物館他による)では、標記フォーラムを開催する。

〈日程〉平成27年1月13日(火)~16日(金)

〈会場〉明治大学駿河台キャンパス(東京都千代田区神田駿河台1-1)

〈内容〉基調講演、パネルディスカッション、ワ

ブックレビュー



「記録映画アーカイブ2 戦後復興から高度成長へ 民主教育・東京オ リンピック・原子力発 電」

丹羽美之・吉見俊哉編
東京大学出版会 発行
2014年7月24日刊 A5判
320頁
9,504円(税込)

日本ではこれまであらゆるジャンルにわたり、実に多くの記録映画が作られてきた。しかし、製作会社が解散し、いつのまにかフィルムが散逸したり、保管されていても劣化したりし、文化遺産ともいえる記録映画が危機にさらされている。

これに対し、なんとかしようとしたのが、2009年にスタートした記録映画アーカイブ・プロジェクトである。貴重な記録映画を収集・保存し、さらにそれらを教育や研究の素材として再活用していく。

モデルケースとして岩波映画製作所が制作した約4,000本のフィルム原版を収集・保存し、再活用する可能性を追究してきた。本書は一連の流れ

のなかの再活用による成果物のひとつである。

テーマに沿って記録映画を上映、監督ら関係者や研究者が報告・討論したワークショップの記録に加筆したものである。第2巻は第4回から第8回までのワークショップをもとに編まれた。

私自身の職業柄か、第4部「原子力発電とPR映画」をむさぼるように読んだ。1960年代から80年代にかけて、多くの原発PR映画が作られており、11年にたいへんな事故を起こした東京電力福島第一原発の映像も残されていた。『いま原子力発電は…』(羽田澄子演出、1976年)は同原発を取材し、いち早く問題提起したテレビ番組だった、と本書を読んで知った。

原発はどう記録され、安全神話はどう作られたのか、戦後のエネルギー・原子力政策の明暗を解き明かす意欲的な読み物にもなっている。記録映画を再活用しての教育や研究への取り組みは、もっと盛んになっていいのではないだろうか。

前作同様にDVDも付けられており、民主教育・東京オリンピック・原子力発電をテーマとした10本が収録されている。

(朝日新聞記事審査室幹事 徳山喜雄)

ークショップ等。詳細は、下記を参照のこと。

http://themuseum2015-tokyo.jp/important_dates.html
(問い合わせ先) Museum2015実行委員会事務局
MAIL museum2015japan@gmail.com

■ 平成26年度理想教育財団教育フォーラム

(公財)理想教育財団では、標記フォーラムを開催する。

〈日時〉平成27年1月25日(日) 13:30~17:15
〈会場〉時事通信ホール(東京都中央区銀座5-15-8)
〈内容〉基調講演「単元を貫く言語活動とはがき新聞」水戸部修治氏(文部科学省初等中等教育局教科調査官)、パネルディスカッション「言語活動の充実に向けて—はがき新聞などのコンパクトテキストの利用—」、質疑応答等。事前申込制。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.riso-ef.or.jp/>
(問い合わせ先) (公財)理想教育財団

TEL 03-3575-4313

■ デジタルアーカイブin岐阜

NPO法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構では標記研究会を開催する。

〈日時〉平成27年2月10日(火) 13:00~17:00・

11日(水・祝) 10:00~16:30

〈会場〉岐阜女子大学文化情報研究センター(岐阜県岐阜市明德町10 杉山ビル4F)

〈内容〉基調講演「恐竜から現代の鳥類へ—デジタルアーカイブの教育利用—」真鍋真氏(国立科学博物館地学研究部生命進化史グループ長)、シンポジウム、最新技術説明会、セッション等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.gijodai.ac.jp/dagifu/>

〈問い合わせ先〉NPO法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構本部事務所「デジタルアーカイブin GIFU」担当岐阜女子大学文化情報研究センター内 TEL 058-267-5301

研究会情報

■ 学情研「情報教育コンファレンス」開催

(公財)学習ソフトウェア情報研究センターでは、標記コンファレンスを開催する。

〈日時〉平成26年12月12日(金) 13:30~16:00

〈会場〉 アルカディア市ヶ谷 大雪の間（東京都千代田区九段北4-2-25）

〈内容〉 講演「教育の情報化の推進について」豊嶋基暢氏（文部科学省生涯学習政策局情報教育課長）、講演「授業におけるICT活用の現状と課題」高橋純氏（富山大学准教授）。

〈問い合わせ先〉（公財）学習ソフトウェア情報研究センター TEL 03-6205-4531

コンクール情報

■「第56回科学技術映像祭」作品募集

科学技術への関心を喚起し、その普及と向上を図るとともに、社会の科学技術教養の向上に資することを目的として、（公財）日本科学技術振興財団、（公社）映像文化製作者連盟、（公財）つくば科学万博記念財団の主催による標記映像祭では作品を募集している。

〈部門〉 ①自然・くらし部門、②研究開発・教育部門、③科学技術教養部門

〈募集作品〉 DVDビデオ、ブルーレイビデオとし、そのまま再生できるもの等。詳細は下記を参照のこと。<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/56/youkou.html>

〈賞〉 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞他。

〈申込期限〉 平成27年1月26日（月）必着。

〈問い合わせ先〉（公社）映像文化製作者連盟「科学技術映像祭」係 TEL 03-3662-0236

学会情報

■ 日本教育工学会研究会・CIEC第104回研究会

日本教育工学会では、コンピュータ利用教育学会（CIEC）とともに、「地域連携と教育実践／一般」をテーマに標記研究会を開催する。

〈日時〉 平成26年12月13日（土）10:00～18:00

〈会場〉 相山女学園大学星ヶ丘キャンパス（名古屋市中種区星ヶ丘元町17-3）

〈内容〉 講演、討論会等。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.jset.gr.jp/study-group/files/?date=20141213>

〈問い合わせ先〉 日本教育工学会研究会幹事

MAIL study-group-core@jset.gr.jp

■ 2014年映像情報メディア学会冬季大会

（一社）映像情報メディア学会では、研究者・技術者が進める多様な視点の研究・開発についての

新情報を持ち寄り、意見交換する場として標記大会を開催する。

〈日程〉 平成26年12月17日（水）・18日（木）

〈会場〉 東京理科大学森戸記念館（東京都新宿区神楽坂4-2-2）

〈内容〉 シンポジウム、一般講演等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.ite.or.jp/data/event/new/?mode=disp&key=58&lid=&sort=&word=&page=1>

〈問い合わせ先〉（一社）映像情報メディア学会冬季大会係 TEL 03-3432-4677

■ 教育システム情報学会 第5回研究会

教育システム情報学会では、「新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン／一般」をテーマに標記研究会を開催する。

〈日程〉 平成27年1月10日（土）

〈会場〉 大阪産業大学（大阪府大東市中垣内3-1-1）

〈内容〉 「クラウドコンピューティングによる新しい教育・学習環境のデザイン、活用に関する研究」などの発表等。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.jsise.org/society/committee/2014/CFP_5th.html

〈問い合わせ先〉 第5回研究会担当委員

MAIL jsise-5th-submit_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp

文部科学省選定作品

■10月選定 紙しばい ビデオ DVD

「二わのことり」 6分、「まめたろう がんばれ」

7分〈小学校低学年、道徳／少年、教養・情操（童話・寓話）〉、「月の峰の狼」 11分、「ふりだした雨」 9分〈小学校中学年、道徳／少年、教養・情操（童話・寓話）〉、「トロヤを自分の手で」 12分〈小学校高学年、道徳／少年、教養・情操（歴史・伝記）〉、「野ばら」 11分〈少年、教養・情操（文学）〉（株）映学社

「うまれる ずっと、いっしょ。」 122分〈少年・青年・成人、教養〉（株）インディゴ・フィルムズ

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

■ 訃報

公益社団法人映像文化製作者連盟名誉会員であり文化・記録映画の歴史研究を手がけた吉原順平氏が平成26年11月10日ご逝去された。享年82歳。